



のとちょう 議会だより

発行：能登町議会 発行日：平成26年8月1日 編集：能登町議会広報編集特別委員会



能登高校生地域貢献活動 宇出津地内にて

第37号の内容

- 6月議会定例会の一般質問・・・・・・・・・・ P 2－4
- 議員名簿・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 5
- 6月議会定例会の議案質疑・・・・・・・・・・ P 6
- 常任委員会レポート・・・・・・・・・・ P 7
- 議会活動と編集後記・・・・・・・・・・ P 8

第37号

いっぱん質問

6月議会定例会の一般質問



椿原安弘 議員

問 北陸新幹線開業による経済効果と対策

北陸新幹線金沢開業による当町の経済波及効果はどのようになるか。
また、金沢から当町への2次交通対策は。

答 経済波及効果は2億8000万円

町長 関東圏からの入り込み客数は石川県で230万人で、うち当町では約6万9000人。また、県への観光入り込み額は約93億円、当町で2億8000万円で試算されている。交通対策は珠洲市能登町公共交通活性化協議会でふるさとシャトル、旅実証運行などを行い、旅行プログラムの開発を行ないたい。

問 少子化による子育て支援策を問う

現在中学生までの医療費は一部負担があるもののほとんど無料化に近いが、高校生まで拡大できないか。また、保育所の保育料は同一世帯で2人以上の児童が入所した場合第3子は無料となるが、第1子が小学生になると減免なしとなる。上の子の年齢に関係なく第3子目以降が全額免除にならないか。

答 子ども医療費の無料化を高校生まで拡大したい

町長 医療費無料化の高校生までの拡大は来年にに向けて前向きに検討し、子育て世代を応援していきたい。第3子目以降の保育料の全額免除については、少子化子育て支援充実施策の一つであるが、同時入所の要件を撤廃というのは難しいので、いづれも半額を3分の1にするなど検討したい。



奥成壮三郎 議員

問 行政改革と町参事職の設置について問う

答 庁舎問題に行政経験豊富な人を参事職にした

問 参事の給料は。
町長 約460万円。

問 なぜ町参事を復活するのか。
町長 24年に課参事は廃止したが、町参事は初めて作る役職。

問 県から出向は考えなかったのか。
町長 一切考えなかった。

問 一昨年12月定例会に再任用や町条例規則の変更等を指摘したのちに退職した人をなぜ参事職に任命するのか。
町長 優秀で信頼して任せられる方をお願いした。

町長 優秀で信頼して任せられる方をお願いした。

問 夫婦二人同時勤務となるが。

町長 能力のある方に特別な任務をお願いした結果そうなった。

問 議会は倫理条例で三親等まで入札できないが、参事と町内の業者は二親等ではないか。

町長 議員の立場と議員の立場とは違うと考える。

問 平成24年1月の行政改革評価委員会に町職員の評価がA評価0%、B評価9%、C評価が70%、残り20%がD・E評価で平均値以下と当時の総務課長が発言しているが。

町長 D・E評価は3%いる。

問 20%がいつ3%になったのか。

町長 指摘を受け調べた結果訂正する。

問 町長は議会や一般質問はその時何とか乗り越えればと見えるが。

町長 議会には緊張感をもつて答弁している。

※総務課長訂正
課参事は現在も設置してある役職。合併当初2年間町参事を配置していたと訂正。



答弁する持木町長



山岸昭夫 議員

問 空き家問題

当町における廃屋がどのくらいあるのか問う。
また、廃屋問題に対する窓口はどこになるのか。

答 廃屋状況は合計で224棟

町長 当町の廃屋状況は能都地区で107棟、内浦地区で57棟、柳田地区で60棟で合計224棟である。

総務課長 総務課内にある危機管理室が窓口となっている。

問 医療法案

平成26年5月15日の衆議院本会議で採決された医療・介護総合法案に対して町の見解を問う。

答 サービスの低下や町財政への影響はない

町長 法案は一定以上の所得の利用者負担を1割から2割に引き上げ、特別養護老人ホーム入所要件の介護3以上に加え、要支援1、2の方に対する訪問介護と通所介護を保険給付から外し、市区町村の地域支援事業に移すことが盛り込まれている。
町では、すでに介護保険の非該当の方に対する通所介護を地域支援事業で実施している。地域支援事業の介護予防事業は介護給付と同率の国・県支払い基金からの負担金を受けて実施しているもので、現在のところサービスの低下や町の財政に与える影響はないと考えている。

問 ふるさと納税

当町におけるふるさと納税の実績を問う。
また、納税された方への対応について問う。

答 平成25年度は38名の寄付を受けた

町長 町出身者や町ゆかりの方から多くの寄付をいただいている。平成25年度は38名、349万6000円の寄付をいただいております、感謝したい。
ふるさと振興課長 寄付された方への返礼品については、寄付の金額に応じてブルーベリージャムやコシヒカリ等の町の特産品を送っている。

『ふるさと納税とは』

出身地など応援したい自治体を選んで寄付し、税金の控除が受けられる制度。

※控除を受けるためには確定申告を行なうことが必要。



酒元法子 議員

問 男女共同参画に対する町の考えを問う

21世紀を豊かで活力あるものにするには男女共同参画が重要課題と思うが町の考えを問う。

答 男女共同参画社会実現に努力する

町長 男女共同参画はこれからの社会を形成するための重要課題である。町は男女共同参画プラン策定、そして男女共同参画推進条例を制定している。男女共同参画社会実現に努力する。
また、男女の性別にとらわれず、人口減少に歯止めをかけるためにも企業の育成・誘致に取り組みたい。

問 防災行政について問う

町の防災無線デジタル化と防災センターの検討・進捗状況を問う。

また、防災士の育成状況を問う。

また、消防職員OBを集めた防災体制を検討しているかどうか。

答 消防庁舎検討委員会での検討中

町長 移転・新築を前提に適地の選定に向け、消防庁舎検討委員会で検討してもらっている。平成28年4月のデジタル無線運用開始に間に合わせる。防災士は、能都地区23人、内浦地区26人、柳田地区が23人で合計72人。消防職員OB、消防団OBの防災体制作りは、消防団の役員会でも意見があった。条例化等して体制づくりをしているかなければと考えている。

問 能登高校の支援策

3校あった高校が能登高校1校になった。能登高校を選んでくれた方など若い方の意見を聞く機会を設ければ良いのではないか。

答 魅力ある高校にしていきたい

町長 毎年4月に高校にて出前講座を行なっている。直接意見を聞くことができ、若者の視点・意見は大人にない豊かな発想力があり、大変参考になっている。よい提案があればまちづくりに取り入れたいと考えている。また、今年4月からは、公営塾を開設した。この公営塾は、学力の向上はもちろんであるが、地域を担う人材育成にも重きを置いている。
能登高校がもつ魅力ある高校になり、町外・県外から集まる高校になるよう支援していきたい。



市濱等 議員

問 人口減少に対する町政維持発展の取組み

人口減少が止まらない。行政サービスの維持が困難な状況に陥る可能性が高い。町民・事業者は重税感に喘いでいる。企業延命、雇用、これらを継続、克服する目的で思い切った減税策は。

答 第一次総合計画に基づき政策を着実に進める

町長 人口減少歯止めには多くの事業を展開している。日本全体の問題と捉え、長期的・総合的な視点で取組む。町単独の減税措置は今のところ考えていない。若者が自らの希望で結婚し子どもを産み育てる社会の実現のため前向きな姿勢で取組む。



鶴野幸一郎 議員

問 幼児教育の環境整備に重点を置くべき

日本再生会議が自治体ごとの将来人口を発表し、26年後の能登町では若年女性が増減することによって人口8千人を切り、全国ワースト25位と不名誉なランキングとなった。この報道を聞いてどう思ったか。

○若年女性の減少とは町に魅力が無いといえるが、分析を進めているか。

○若年女性の流出を抑制し、インターン・Uターンを促進する施策として幼児教育は重要な要素の一つ。幼児教育の充実を図るため保育所の年長組に英語教育や小学校に体験入学させるなど町独自の工夫があっても良いのではないか。



町の未来を担う子どもたち

答 幼児教育環境の整備について研究したい

町長 当町は子どもを産み育てる恵まれた環境にあると自負している。女性に好かれない理由は特に考えつかないが今後検証する。

教育は重要であり、保護者の関心も高く能登高校では公営塾を開設した。保育所の教育環境の整備についても研究したい。

問 財源の縮小を視野に堅実な施策を

町の人口減少に伴い自己財源の縮小も免れない。合併特例交付金も5年間で段階的に減額となるが、5年後に減額となる交付金の総額はどのくらいとなるか。予算のシミュレーションは出来ているか。

答 身の丈にあった一層の節減に努める

町長 79億3千万円の交付税総額から最終的に12億円が減額となり、さらに人口減少分として5億円合わせて17億円が減額となる見込みである。一層の経費削減に努めている。



志幸松栄 議員

問 入札制度について

入札制度の町的基本的考え方について問う。

答 入札の透明性の確保に努めていく

町長 入札制度の基本的な考え方は、公共事業の目的の一つである地域経済の活性化のためにも地元企業へ発注することが重要と考えている。

発注にあたっては、入札の客観性・競争性・透明性の確保に努めていく。

「合併して年数経つけど議員さんの顔と名前が一致しない」の声が寄せられることがありましたので、名簿を掲載いたします。

 議席番号 5 番 氏名 さけもとのりこ 酒元 法子 住所 宮地	 議席番号 4 番 氏名 しょうじまさとし 小路 政敏 住所 越坂	 議席番号 3 番 氏名 いちはまひとし 市濱 等 住所 新保	 議席番号 2 番 氏名 くにもりたかあき 國盛 孝昭 住所 柳田	 議席番号 1 番 氏名 きんしちゆうたろう 金七 祐太郎 住所 松波
 議席番号 10 番 氏名 おくなりそうざぶろう 奥成 壮三郎 住所 小木	 議席番号 9 番 氏名 むかいとうげたかと 向峠 茂人 住所 当目	 議席番号 8 番 氏名 みなみまさはる 南 正晴 住所 鈴ヶ嶺	 議席番号 7 番 氏名 かわたのぶあき 河田 信彰 住所 藤波	 議席番号 6 番 氏名 つばきはらやすひろ 椿原 安弘 住所 時長
 議席番号 15 番 氏名 つるのこういちろう 鶴野 幸一郎 住所 宇出津	 議席番号 14 番 氏名 かじやしんいち 鍛冶谷 真一 住所 宇出津	 議席番号 13 番 氏名 やまぎしあきお 山岸 昭夫 住所 笹川	 議席番号 12 番 氏名 みやかたつぞう 宮田 勝三 住所 藤ノ瀬	 議席番号 11 番 氏名 しこうしょうえい 志幸 松栄 住所 宇出津
 議席番号 18 番 氏名 おおやちぎいち 大谷内 義一 住所 合鹿	 議席番号 17 番 氏名 しんひらゆきお 新平 悠紀夫 住所 宇出津	 議席番号 16 番 氏名 ひさだりょうへい 久田 良平 住所 宇出津山分		



議案をチェック

6月議会定例会の議案質疑

平成26年6月定例会の議案質疑は5名の議員が議案について質した。主な質疑を答弁、説明は次のとおり。

問 鍛冶谷眞一 議員

水産業費300万円は高倉漁港の法面工事と聞く。臨港道路ということで県は別途予算をつけて工事を施工するのか。

答 農林水産課長

町単独の事業費だ。県は別発注だが同じ場所であるので協力して進める。

問 市濱等 議員

消防費について常備消防体制の改編、奥能登広域圏消防の体制強化、事務の簡素化だと思うが、町の消防職員を6名派遣

すると聞く。輪島市の本部では27名体制で強化される。輪島市の所管する職員は8名も減少する。能登町は2名増員しなればならない体制だ。消防職員が減ること

は町に危険度が増すことだ。当町にもメリットのあるように事業化を。

答 総務課長

奥能登広域圏消防事務所職員は現在12名。新体制では15名の増員で27名体制で本部強化を図る。

問 椿原安弘 議員

平成25年度一般会計、企業会計の決算見込み額を問う。また、除雪経費の実績について問う。

答 会計管理者

一般会計は繰越明許費のうち一般財源を引いた収支は約2億2100万円の黒字見込みである。

答 上下水道課長

収益的収支は税抜きで約4877万円の黒字。資本的収支は企業債償還金等で収支の不足額は約3億7709万円で、損益勘定留保資金及び建設改良積み立て金で補填を行なった。

問 公立宇出津総合病院事務局長

25年度の決算は会計方式の改正に伴い、新しい基準での決算となった。退職給付引当金等特別損失を計上したことにより約4億7475万円の純

損失であるが、旧会計基準の決算に置き換えると黒字である。

答 建設課長

道路除雪費は減額補正後4209万円である。

問 鶴野幸一郎 議員

がんばる地域交付金について説明せよ。

答 企画財政課長

地域活性化効果実感臨時交付金という名称で、国庫補助事業を取り入れている財政力の弱い地域に交付される交付金。

答 総務課長

配分の要素として財政力指数と行政改革努力加算分があり、当町は交付金の上乗せがあった。

問 志幸松栄 議員

国民健康保険税条例と税条例の改正について説明をせよ。

答 税務課長

軽自動車税の改正が主である。平成27年4月1日以降に新規登録された軽四家用タ

答 健康福祉課長

国保の条例改正は2割軽減、5割軽減の軽減幅の拡大と限度額の拡大である。2割軽減の人が増える一方、5割軽減へ移行する人が減少し、平成25年度をもとにした試算では、827万3000円の増額・影響額となる見込み。

今回の改正は、国県からの財政支援により行なうもので、被保険者への影響はなく、国保の財政基盤の安定化に向けた低所得者・中所得者へ配慮した政策である。

総務

委員会

奥成壮三郎（委員長）
椿原安弘（副委員長）
國盛孝昭・向峠茂人
宮田勝三・鍛冶谷眞一

をいただき、総合計画の骨格をつくる。

●コンセールのと

間公共交通の拠点として車道側溝の強度が低いため歩道にバスが寄せられない。また、タクシートの乗り場が左奥手であり利用者にとって不便、その他一方通行の指示が明確でないなどのトラブルが発生している。

〔密〕現地を確認しより利用し易いよう整備・改善を検討する。

審査過程での主な質疑応答などは次のとおり。

●管内視察

○避難路整備事業

小木高瀬・矢波地区

○防火水槽整備事業

鶴町・上町地区

○防災備蓄品整備事業

旧神野保育所の倉庫

○遊休施設解体事業

城野元教員住宅

○漁港整備事業

タント口島臨港道路

〔密〕第2次の総合計画については、来年度策定を予定している。懇話会設置についてもすでに第1回として第一次産業の方々から意見を聞いている。これからも引き続き色んな業種の方から意見

教育民生

委員会

市濱 等（委員長）
金七祐太郎（副委員長）
南 正晴 ・ 久田良平
新平悠紀夫・大谷内義一

ており、新たなシステム構築のため計上したものである。

●国保条例について

〔密〕国民健康保険条例の改正で軽減分の影響は、

〔密〕軽減全体では、82万3千円となるが、国費県費があるので、被保険者には影響はない。

●管内視察

○松波城跡公園跡地

○内浦第2体育館

○旧真脇小学校

○公立宇出津総合病院

●児童福祉総務費委託料
〔密〕委託料166万8千円が計上されているが、既存の税情報システムで対応できないのか。

〔密〕今回の給付金は、低所得者や非課税等の条件があり、児童手当の中所得者等の絞り込みが必要になるのでシステム化を図り受給判定を行う。現在のシステムは、輪島市と穴水町との1市2町の共同電算システムで行っ



旧真脇小学校

産業建設

委員会

小路政敏（委員長）
河田信彰（副委員長）
酒元法子・志幸松栄
山岸昭夫・鶴野幸一郎

6月6日に委員会を開催し付託された報告1件、議案2件を審議し全会一致で承認・可決すべきものと決定した。

委員会での主な意見などは次のとおり。

●水道事業の検針業務について

〔密〕家を留守にされている方などの水道の異常を発見した際の対応は。

〔密〕検針員が前月からの異常値等あれば漏水のお知らせをいれるようにしている。また、上下水道課でも異常と思われる場合は連絡を入れたり、長期不在時は休止届けを出すようにお願いしている。

●管内視察

○町観光案内標識整備事業箇所

○柳田3号源泉

○柳田地区簡易水道再編推進事業区域

○町道藤波崎山1号線

○町道白丸2号線

○高倉漁港法面

○福光ダム老朽ため池

○能登牛の郷施設



上町第2ポンプ場



柳田3号源泉

4月から6月の主な議会活動

4月7日 議会運営委員会 議会基本条例制定特別委員会
 4月13日 別所岳サービスイリア広域観光施設起工式
 4月17日 奥能登クリーン組合議会運営委員会
 4月21日 広報編集特別委員会
 4月22日 全国町村議会議長会理事会
 4月26日 コンセールのと竣工式
 4月30日 石川県町村議会議長会定期総会 奥能登クリーン組合臨時会
 ※各学校入学式

5月12日 議会全員協議会 合同研修会 議会運営委員会
 5月16日 教育民生常任委員会
 5月22日 産業建設常任委員会
 5月23日 議会運営委員会
 5月27日 全国町村議会正副議長研修会
 ※各町団体総会等

6月2日 議会全員協議会
 6月5日 議会定例会（開会）
 6月6日 産業建設常任委員会
 6月9日 総務常任委員会 教育民生常任委員会
 6月11日 町議会定例会（一般質問）
 6月13日 町議会定例会（閉会）
 6月18日 議会基本条例制定特別委員会
 6月24日 能登地区町議会連絡会
 6月25日 議会基本条例制定特別委員会

次の定例会は9月です

議会の日程については、決定したい町のホームページ、または有線テレビでお知らせしていますので、ぜひ傍聴にお越しください。ご意見などありましたら、下記事務局へご連絡ください。

編集後記

議会だより後記にあたり、同僚議員の質問を聞き全く同感の至りでありました。合併して約十年。減少した人口は4千人を超え、超高齢化・少子化等当町に大きな難問が課されています。地方議員としてその任を全うし、次の世代に希望に満ちたページを送ることが出来るよう努力して参りたいと思います。

委員 山岸昭夫

広報編集 特別委員会

委員 長國盛 孝昭
 副委員長 金七祐太郎
 委員 市濱 等
 小路 政敏
 山岸 昭夫
 鍛冶谷眞一